近一だより

重点目標 考えて 話して つくりだそう



旭川市立近文第一小学校
令和８年度 第８号
令和８年11月４日発行

「一歩ふみだす勇気」

校長　齋藤　知尋



１０月２９日、３０日に「スタディフェスティバル」を行いました。多くの保護者の皆様にご観覧いただけたことに感謝申し上げます。子どもたちは、発表に向けて日々練習に励んでいました。本番では、緊張している様子も見られましたが、スタディフェスティバルという場での発表に一生懸命にチャレンジする姿をご覧いただけたかと思います。

私自身の発表会へのチャレンジといえば、小学校２年生の時の学芸会で劇に出演したことを思い出します。第一幕の最初から一人で登場し、幕が開いたら第一声を任される役でした。児童公開日（総練習）の時に、幕が徐々に開いていくと、そこには約８００名の児童の姿が見えました。その瞬間、自分の足がガクガクと震え出したのです。練習で担当の先生から「とにかく最初の言葉を大きな声で思いっきり言えば大丈夫」とアドバイスされていたことを思い出し、勇気を出して体育館の天井に向かってセリフを言いました。その声が体育館に響いたことを今でも鮮明に覚えています。自分なりにチャレンジし、一歩ふみだした瞬間でした。

何かにチャレンジする時は、自分で「一歩をふみだす勇気」が必要です。その時にチャレンジしようとすることや、チャレンジした事実を自分自身や周りが認め、励ましていくことで、自信へとつなげ、次へのチャレンジへ向かえるようにしていきたいものです。

フランスには、**「卵を割らなければ、オムレツは作れない」**という言葉があるそうです。自分で卵を割って作ったオムレツ。たとえ、味がいまひとつでも、自分で作った料理は、おいしく感じるのではないでしょうか。何より、「自分で作った」ということがその後の自信へとつながっていくのだと思います。さらに、「大丈夫、自分でできるよ」「自分で作れたね」「卵を自分で割れたね」と、そのチャレンジを認め、励ましてくれる人が周りにいれば、より大きな自信と成長へとつながっていくことでしょう。



今回のスタディフェスティバルでの近一っ子のチャレンジを、全職員で、そして、子どもたち同士で認め励まし合うように取り組んでまいりました。保護者の皆様や地域の方も同じような温かい気持ちで見守ってくださっていたことと思っております。

子どもたちが、これからもいろいろな機会を通して「チャレンジ」をし、成長していくことができる学校を今後も目指してまいります。

スタディ・フェスティバル

多くの方に足を運んでいただき、ありがとうございました。








宿泊学習（5年）

↓さまざまなスポーツに挑戦！




秋を見つけにいこう（1年）



←落ち葉の中にダイブ！

今日から君も消防士（3年）

→消防服の重さにビックリ！



えがおのひみつ 探検隊（2年）




←モビリティースクールさん、東鷹栖駐在所さん、セブンイレブンさんにお世話になりました！

アイヌ民族音楽会（4年）



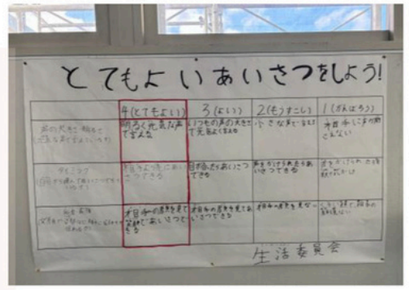
職場体験



↑東鷹栖中の生徒が一日先生体験！

「あいさつグランプリ」

生活委員会が中心となり、「あいさつグランプリ」を実施しました。子どもたちが作成したあいさつの目標をもとに、全校でよりよいあいさつを心がけ、明るい声と笑顔が校内に広がりました。これからも、気持ちのよいあいさつを通して、互いにつながり、笑顔あふれる学校をつくっていきます。



←玄関に掲示しました

11月

２日(月) 街頭指導、クラブ(3年見学)
３日(火) 文化の日
４日(水) 朝会
５日(木) 二計測(4～6年)
６日(金) 二計測(1～3年)
フッ化物洗口
アイヌ学習プログラム(4年)
８日(日) 市P連研究大会
９日(月) 保護者懇談(～13日)
１１日(水) 食に関する指導(3,4年)
１２日(木) 食に関する指導(1,2年)
落語独演会(4～6年)
１３日(金) 食に関する指導(5,6年)
フッ化物洗口
１８日(水) あすチャレ！(５年)
１９日(木) SA
２０日(金) 幼保小連携交流学習
フッ化物洗口
２３日(月) 勤労感謝の日
２７日(金) フッ化物洗口
３０日(月) 委員会